



とある平日の午後、東武東上線板橋駅から徒歩7分のサン・マリーナ(以下、マリーナ)にお邪魔すると、検温や記録といった受付をメンバーの1人が対応してくださった。室内では電話番号や集計作業など運営業務自体をメンバーが行っている様子が見られる。スタッフルームは設けていないという。メンバーになって丸2年の波奈さんは「毎月発行のニュースレターの記事執筆や編集にも携わっており、精神的に安定してきたと語る。」

共生社会を
考える 108
居る(19)



ミーティングはスタッフやメンバー各々だけでは行わない(写真上)。マリーナとGHのメンバー・スタッフら

みんなで作る“福祉の港”

～板橋区「サン・マリーナ」

「同じ場所に違う目的の人が居られる空間だと感じ、ここなら大丈夫だと思っただけ始めました。自分の能力を活かせるようになり、笑顔が増えたと周りから言われます。」(波奈さん)

「同じ場所に違う目的の人が居られる空間だと感じ、ここなら大丈夫だと思っただけ始めました。自分の能力を活かせるようになり、笑顔が増えたと周りから言われます。」(波奈さん)

「メンバ―は休止期間の長短にかかわらず再び参加することができ、」

週4日は一般就労しながら週1日だけ就労関係プログラムに参加しに来る人もいます。運営業務以外に昼食作り等の仕事がある一方、学習会や季節ごとの行事もあり、メンバーは主体的に参加の仕方を選べるのだ。

「1日12時間睡眠が必ず、マリーナには午後から通っていました。先輩が行っているのを見て自分も続こうと思いました。週2日、1日3〜4時間の勤務から自信を付け、最後の方は10〜18時の1日勤務や週5日の勤務を経験。その後、就職先を探すようになりました。」

「1日12時間睡眠が必ず、マリーナには午後から通っていました。先輩が行っているのを見て自分も続こうと思いました。週2日、1日3〜4時間の勤務から自信を付け、最後の方は10〜18時の1日勤務や週5日の勤務を経験。その後、就職先を探すようになりました。」

「1日12時間睡眠が必ず、マリーナには午後から通っていました。先輩が行っているのを見て自分も続こうと思いました。週2日、1日3〜4時間の勤務から自信を付け、最後の方は10〜18時の1日勤務や週5日の勤務を経験。その後、就職先を探すようになりました。」

「メンバ―は休止期間の長短にかかわらず再び参加することができ、」

「メンバ―は休止期間の長短にかかわらず再び参加することができ、」

もっと知りたい! JHC 板橋会のこと
1983年に精神科ソーシャルワーカーら11名の共同出資で民間の支援団体として設立した。B型事業所や地域活動支援センターI型など9事業所を板橋区内で運営している。94年に開設した定員7名の通過型グループホーム(アパートタイプ)でも、定期的に全体ミーティングや食事会など入居者が主体的に関わるプログラムを実施している。

「就職までのスピードが求められる今の時代に、時間をかけてゆっくりとそれぞれのペースに合わせた支援を行える場が必要だと思います。いっつも戻って来られる港(マリーナ)として人生あってほしいと思った。」

「メンバ―は休止期間の長短にかかわらず再び参加することができ、」

「メンバ―は休止期間の長短にかかわらず再び参加することができ、」

「メンバ―は休止期間の長短にかかわらず再び参加することができ、」



夏休み時事脳活パズル
画・西澤勇司

特集 **今、本気で向き合う**
カスタマーハラスメント

「カスハラ」を正しく理解しよう 多様化するカスタマーハラスメントの「本質」と「5つの対応原則」
執筆 ▶ 高室成幸さん◎ケアタウン総合研究所代表

カスハラ対策現場はいま 地域で、社会全体で考え対応する仕組みを「何でも屋」ではない、正しい理解の促進も
執筆 ▶ 遠藤貴美子さん◎株式会社わかばケアセンター-居宅業務管理課課長

鼎談で深掘り! いま、そこにある危機! カスタマーハラスメントから介護現場を守るために
参加者 ▶ 真下美由起さん◎弁護士/奥田亜由子さん◎日本ケアマネジメント学会理事/高室成幸さん◎ケアタウン総合研究所代表

より良い関係性構築のために 利用者、家族、ケア専門職 三者のウェルビーイングを目指し続ける
取材協力 ▶ 松本一生さん◎松本診療所理事長・院長 精神科医

特別企画 **摂食嚥下リハビリテーションで地域を活性化するための3ステップ**
執筆 ▶ 石山寿子さん◎国際医療福祉大学准教授 言語聴覚士

ほか、好評連載多数掲載

環境新聞社 シルバー新報販売部
TEL.03-3359-5372 FAX.03-3351-1939

変わりゆく時代のケアマネジャー応援誌
月刊 ケアマネジメント
8月号

特集 **今、本気で向き合う**
カスタマーハラスメント

特別企画
摂食嚥下リハビリテーションで地域を活性化するための3ステップ

好評連載
長屋和宏の「在宅介護を快適にする秘策」
高齢者の熱中症にどう対応するか?

年間購読がお得です お申込みはHPから
年間購読料金 11,943円(税・送料込み)
1部料金 1,320円(税込・送料別)

※クレジットカードやコンビニでのお支払いで年間購読希望の方は
富士山マガジンサービスからお申し込みいただけます。 <http://www.care-m.net/>